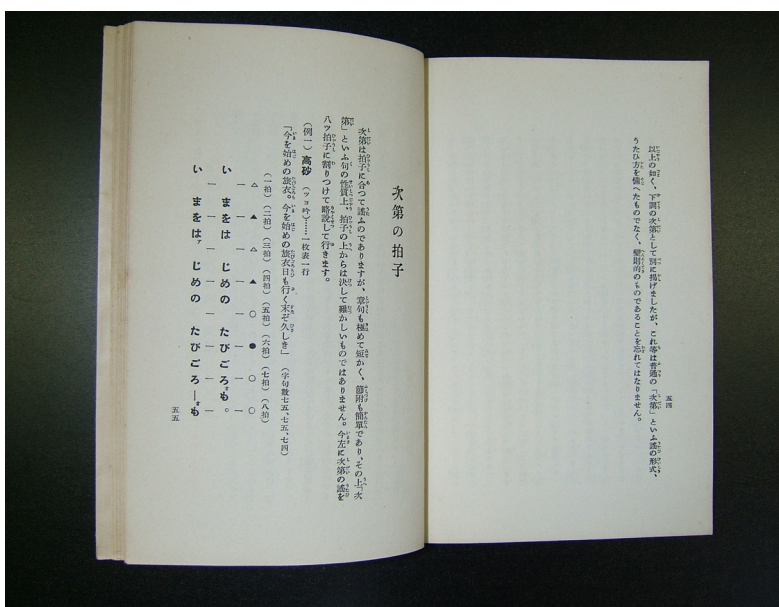
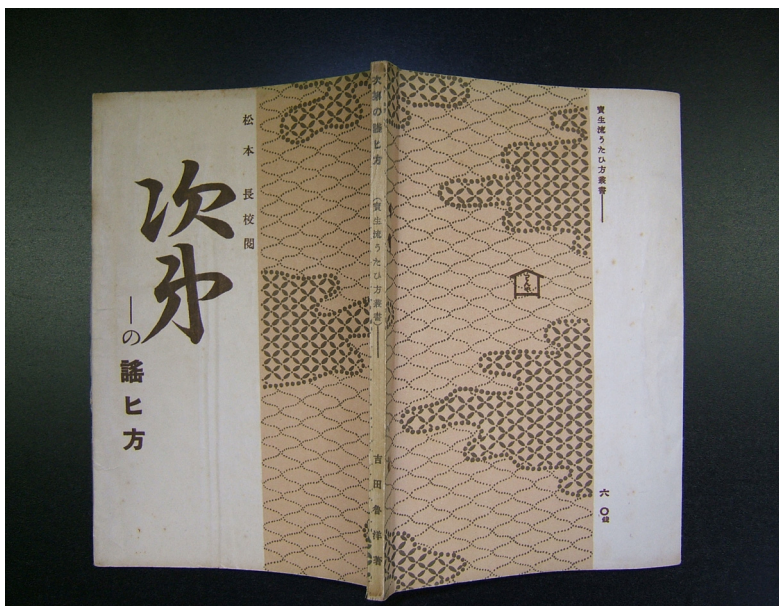


吉田魯洋 『次第の謡ひ方 宝生流うたひ方叢書』

自序によると、本書は、歌い方解説書としてははじめて、謡曲を構成する単一の章句（小段）に焦点をあてた本である。ワキ、シテ、地等、担当役による分類、吟や調子による分類にそつて、記述がすすめられる。最後の章が、写真下に示した「次第の拍子」。割付けによつて、地拍子上のバリエーションが示されている。



標題 内題…次第の謡ひ方 宝生流うたひ方

叢書

標題紙…宝生流うたひ方叢書 次第の謡

ひ方

奥 附…「宝生流うたひ方叢書」 次第編

その他…次第の謡ひ方 宝生流うたひ方

叢書（目次）、次第の謡ひ方（表

紙）、次第の謡ひ方 宝生流うた

ひ方叢書（背）

著者 奥 附…吉田只雄（魯洋）

その他の場所…吉田魯洋（序・標題紙・

背）

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…わんや書店

出版年…昭和8（1933）

その他の場所…序 昭和8（1933）

形態 冊数…一冊 頁数…七〇頁

寸法…19×13（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 松本長校閲。